

カメムシによる斑点米被害を防ぐ主要な遺伝子座「*qSBR11*」を発見

- 信頼性の高い DNA マーカーの開発により、コメの安定生産と抵抗性品種の育成に貢献 -

愛知県農業総合試験場とグランドグリーン株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：丹羽優喜、以下「グランドグリーン」）は、あいち農業イノベーションプロジェクトの共同研究を通じてカメムシによる水稻の斑点米被害を防ぐ抵抗性遺伝子座を明らかにし、その研究成果が日本育種学会の国際学術誌『Breeding Science』に先行記事として公開されました。

■ 研究の成果概要

近年の温暖化傾向により水稻の害虫被害が増加しており、特にカメムシは、吸汁によって玄米に生じる斑紋が外観品質を大きく損ね玄米等級の低下を引き起こすため、農家収入の減少に直結する問題となっています。

本研究では、愛知県の選定したカメムシに対して強い抵抗性を持つ水稻品種を用いて、抵抗性に関わる遺伝子座「*qSBR11*」を特定しました。この領域内に位置する DNA マーカーを用いて選抜された個体は、カメムシ害によって発生する斑点米率が有意に低下しました。

今回の知見は、農薬に過度に依存しない、カメムシに強い新たな水稻品種の迅速な育成につながる成果です。

■ 論文情報

掲載誌：Breeding Science

タイトル：A major quantitative trait locus *qSBR11* from *Oryza sativa* 'Milyang 44' confers resistance to rice stink bugs

著者：Masami Tsuzuki, Mitsuru Nakamura, Hiroyuki Kokaji, Hiroto Yamaguchi, Kazuhiko Sugiura, Tomofumi Yoshida, Shuhei Kato, Kenichiro Mori, Hiroko Ohashi, Utako Yamanouchi, Shuichi Fukuoka, Ayahiko Shomura, Koichi Toyokura and Shiro Fukuta

DOI：10.1270/jsbbs.25084

■ 会社概要

会社名	グランドグリーン株式会社
事業内容	スマート育種プラットフォームを活用した作物の新品種創出および作物品種開発支援
設立年月	2017年4月
所在地	愛知県名古屋市千種区東山通五丁目 112 番地
代表者	代表取締役 丹羽優喜
URL	https://www.gragreen.com/

本件に関するお問い合わせ先

グランドグリーン株式会社 ソリューション事業部 木藤
MAIL: info@gragreen.com / TEL: 052-753-3870